

第6回 釜石市新市庁舎建設検討委員会概要

日 時 平成30年6月5日（火）午後1時30分から3時30分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 新庁舎建設場所に係る課題への対応について
議案第2号 オフィス環境整備業務について
議案第3号 今後の取り組みについて
議案第4号 今後のスケジュールについて
議案第5号 委員の任期について

出 席 者 <委 員>

石垣委員、柏木委員、柏館委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、佐々木（光）委員、佐々木（耕）委員、澤田（龍）委員、澤田（政）委員、柴田委員、畠委員、矢浦委員、山崎委員

<アドバイザー>

南 正昭 岩手大学教授

<事務局>

丸岡室長、洞係長、小笠原主任

協 議 内 容

【事務局】委員の任期が今月一杯となっており、後日改めて継続をお願いする文書を送付するので、引き続き委員として意見をいただきたい。

【委 員】勾配が急で、交差点を作るのに下が庁舎、上がバイパスと高さが決まっているが、その中間で勾配を調整するとなると、その埋め合わせのためにどこか急になる部分が出てくるのではないか。交差点のあたりはカーブになっているし、ブレーキをかけないと降りられない。交差点の安全のためにある程度平面を確保するということだと思うが、その辺の説明をお願いしたい。また、庁舎建設予定地イメージ図の庁舎のうしろ、天神町側から道路がつながるが、これと旧国道のつながりは。庁舎の広場を通るのか、それとも交差点側を通るのか。

【事務局】おっしゃるとおり交差点をフラットにすると、急な勾配部分が出来てしまうので、交差点のなかにある程度勾配があるものということで検討している。また、旧国道と天神3号線につながる道路というイメージ図を描いており、この中の敷地内道路については、設計のなかで外構の一部として検討すると考えている。

【委 員】オフィス環境整備業務、ホームページで拝見したが、具体的なことが決まっていないのに中のオフィスを検討するのはどうなのか。新しい配置などを検討するが、市役所の規模とか組

織は決まっているわけなので、それに対する現状把握、分析と、新しいものが色々できると思うのでその検討かなと思うのだが。

【事務局】建物のハード的なものは設計会社が考えるが、設計会社が決まったときに、窓口をどうするか、会議室が何部屋欲しいかということ聞かれるので、あらかじめ検討しておき、設計会社が決まった段階で市としての考え方を示せるように、先行して考えていく。

【委員】プロポーザルで、一者しか応募がなかったと言うが、業者は。

【事務局】今回什器メーカーの(株)オカムラに決定したが、想定していたのはそういう什器メーカーや設計会社で、市に業者登録してある企業のなかから応募してもらった結果だ。

【委員】机やロッカーを制作している企業だが、什器の購入まで決まっているわけではないのか。

【事務局】什器の選定や概算費用の算出はしてもらうが、購入は入札で行う。オカムラから購入するという話ではない。仕様書を作成して、同等品で入札を行う。

【委員】申請が一つの窓口で受け付けてもらえるような市町村もそうでない市町村もあり、どちらも一長一短あるが、この辺は非常に大事な部分だと思うので検討していただきたい。庁内の庁舎建設検討委員会検討部会の開催回数が、各部会につき5回程度となっているが、庁内の検討というのはすごく大事である。要望が決まらなると、基本設計もなかなか決まりにくいものだから、ある程度の要望を示しておかないと、設計会社は大変じゃないかなと思う。

【事務局】窓口、会議室の数であるとか、設計に直接関係のあるものについては来月くらいから早い段階で決めていきたい。什器類等、すぐに決めなくてもいいものについては、業務委託期間中である今年度末までに決めればいいと考えている。ワンストップサービスについては庁内の委員会でも話が出ており、ワンストップなのかワンフロアストップなのか、関係のある部署同士をひとつのところにまとめるのか、ということ早い段階で決めていければいいと考えている。

【委員】建設スケジュールに関して、スケジュール（案）を見ると基本計画・基本設計のスタートが9月のようなのだが、庁舎の仕様のスペックについて、誰がいつ決めたのかがわからない。よくわからないのに、絵が出ている。この委員会がいろいろ意見を出してはいるが、具体的に絞り込んだ項目を実施設計に入れられるのか。あるいは市役所のどこかの部門で決めて、これが最終案ですというのを決めて、この委員会に出すのか。

【事務局】外部のこの委員会でいろいろ意見を貰い、庁内の建設検討委員会にも諮り、大筋了承を得て現在に至っているが、それが最終決定ではない。例えば市長を含めた政策会議であるとか、そういった場で決めていく流れになると思う。

【委員】3階建てにするとか4階建てにするとか、鉄筋コンクリートか、鉄骨か木造かという基本的なことについて聞いている。今日は部長以上の出席がなく、今聞かれても困ると思うので次

回までに回答をお願いしたい。

【委員長】他市町村の基本設計では、どのような手法で行っているのか、お話しいただきたい。

【アドバイザー】市で発注をかけるわけであるから、プロセス、最終決定においても決定権は市にある。プロポーザルというのは提案型で、提案を出してもらい、業者のプロの知識がもてる。建設のプロでない人たちにとっても、提案されたものを評価しながら決めていくというプロセスになる。決めて動いていくのは市。具体的には議会や、最終的には市長になると思うが、その間に意見を聞いたり提言をすることになる。行政の方では特別なことはできない仕組みになっているので、プロポーザルという方式に沿って、業者が選定されて、やっていくという形になっている。これから釜石市でもプロポーザルで業者を選び、具体的な話が動いていくと思う。以前にも申し上げたが、大卒のところではここはこういうことを押さえて欲しい、という意見をここで出しておいて、実際に基本設計が作られていく段階で、業者等にそのことを伝えてもらい、できるだけ意見が反映されるようにしていくやりかたがいいと思う。

【委員】市庁舎は 50 年、もっと先まで使うものだから、その最初の入り口のところで誰がどう決めて、私たち委員にどういう話を持ってくるのか。大事だから言っているわけだが、先ほど言ったように、持ち帰って検討していただくことでいかがでしょうか。

【事務局】持ち帰って検討させていただきたいと思います。

【委員】以前財源計画の話のなかで、国から何らかのお金が入ってくるということを聞いた気がするが。

【事務局】以前の資料には 6 億くらいと載せていた。震災の関係で交付税を貰えるのではないかと財源計画だったが、復興庁と協議したところ、今回の庁舎の建設には交付金は使えないという話をされた。そのため、現時点での財源計画のなかにある市町村役場機能緊急保全事業を活用する。この制度ができたのが平成 29 年度で、制度ができる前の平成 28 年度の検討段階では、復興交付金を使った 6 億円くらいを目標に国の方と交渉していくと話していた。ただ、防災機能に特化したものでないとだめだということで、タイミング的に市町村役場機能緊急保全事業が出てきたので、そちらの説明は前回か前々回の委員会で説明をしている。

【委員】今の庁舎は震災に遭っているが、その関係で援助は受けられるのか。

【事務局】本庁舎の地下と 1 階部分が津波の被害に遭っているが、復旧しているので、これから先、復旧したものを新たに建て替える際には補助は出ない。

【委員】市債の分がどうなるかと、制度がなくなる 33 年度がどういう縛りになるのかについて説明して欲しい。

【事務局】通常であれば起債対象経費の 75%、100 億円であれば 75 億円しか借りられない。今回この事業を活用すると、上限 90%まで借りられることに加えて、交付税措置対象になる 75%の

うちの30%の元金、利息をあとで地方交付税に加算して市がもらえる。この制度が32年度、33年度になるかという話について、現段階では32年度までに建て、完成させるのが借りられる条件である。ただ、事務手続き上、若干延びても国と協議しておき、33年度中完成であれば借りられる見込みである。

【委員長】 せっかくお越しいただいたので、アドバイザーから総括的なこととお話しいただきたい。

【アドバイザー】 非常に丁寧に委員の皆さまのご意見を聞いており、なかなかこのような委員会はないと思う。ある程度固まったものを委員の皆さまに見ていただければ、少し意見をいただきながら進められる。これ程大きな皆さまの関心があり、また、委員長のご姿勢があつて、意見を一つ一つ聞いて事務局は大変だと思うが、こういう形で進めていくのがこの市役所のスタイルだと思われるので、ぜひ、こうした市民の合意を形成しながら庁舎をつくったということがあとで言えるように、事務局さんには汗をかいていただいて、進めていかれたら素晴らしいと考える。今後開催回数とか、この委員会のスケジューリングを組んでおいた方が、皆さんがパンクしないで済むかなとは思いますが、その辺は難しいので、折り合いを付けながら進めていただければと思う。以上です。

【委員長】 ありがとうございます。それでは、委員会を終了したいと思います。どうもありがとうございます。ありがとうございました。